

## 情報公開文書

研究の名称	奈良宣言の検証からみた ALT30 の意義
研究代表機関	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・職名および氏名)	富山大学附属病院 第三内科 准教授 田尻和人
①試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>この研究は富山大学臨床・疫学研究等に関する倫理審査委員会の承認および研究機関の長の許可を受けて実施しています。</p> <p><b>【研究の目的・方法】</b> 2023年に慢性肝疾患、特に代謝機能異常関連脂肪性肝疾患（MASLD）の患者拾いあげのために ALT30 をカットオフとし患者スクリーニングを行うとする奈良宣言が日本肝臓学会から発出されたが、広く受け入れられていない。カットオフ値の意義やスクリーニングの実効性が問題と考えられている。当院で ALT 検査を行われた患者を後方視的に検討し、ALT30 の意義を検証する。</p> <p><b>【研究期間】</b> 実施許可日 ～ 2027年3月31日</p> <p><b>【研究対象者】</b> 2024年4月1日-2025年3月31日に当院外来を受診し AST, ALT, 血球検査を実施された患者さん</p> <p><b>【研究資金、利益相反の状況】</b> 第三内科研究費を使用し、該当する利益相反はない</p> <p><b>【個人情報の取扱い】</b> 情報はすべて他の情報と照合しなければ個人を識別できないよう加工され、漏出の危険はない</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 2026-7年度に関連学会および医学雑誌に発表の方針</p> <p><b>【試料・情報の他機関への提供有無】</b> 無</p>
②利用又は提供する試料・情報の項目	<p><b>【試料・情報の項目】</b> AST、ALT、血小板数、Fib-4 index、年齢、体重、BMI 血液検査の肝炎検査 HBsAg, HCV-Ab 結果 背景疾患、背景臨床因子につきカルテ記載より検討</p>
③利用又は提供を開始する予定日	<p><b>【利用又は提供を開始する予定日】</b> 2026年3月1日</p>
④試料・情報の提供を	富山大学附属病院 院長 山本善裕

行う機関の名称及びその長の氏名	
⑤提供する試料・情報の取得の方法	電子カルテ記録
⑥利用する者の範囲	富山大学附属病院 第三内科 准教授 田尻和人 第三内科 医員 宮津祐希 臨床検査部 技官 中川夏輝
⑦試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	富山大学附属病院 院長 山本善裕
⑧研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨	研究対象者に関する試料・情報を当該研究に用いること（他の研究機関への提供も含む。）に対して、拒否をご希望される場合や研究資料（研究計画書及び研究の方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲で入手・閲覧を希望される場合は、以下の窓口へご連絡ください。  電話番号：076-434-7301 FAX：076-434-5027 E-mail：tajikazu@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名：第三内科 田尻和人